



# おにぎり通信

2020年2月22日（土曜） 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷、銀座、日比谷、秋葉原、日本橋、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

2月22日は、「2」と、猫の鳴き声（「にゃん」）の語呂合わせから、「猫の日」に定められています。特に今年は、2020年（令和2年）2月22日と、さらに2が続くため、猫にちなんだ催しがいろいろなところで行われます。

猫は、近年、ペットとしての人気が高まっています。飼われている数は犬を上回っており、また、そのせいもあってか、野良猫も結構います。猫は繁殖力が高くてすぐに増えることもあり、毎年数万匹の猫が殺処分されています。これを防ごうとする取り組みが、「地域猫」活動です。飼い主のいない猫と地域が共に生きていくことを目指し、不妊去勢手術などを行い、将来的に飼い主のいない猫を無くすことを目的としています。千代田区は、この活動に熱心に取り組み、2011年に日本で初めて殺処分ゼロを達成、今も続けています。

☆2月10日（月）福祉行動報告 どなたも来られませんでした。

次回の福祉行動：2月25日（火）

東京駅丸の内南口地下に朝8時30分までに来てください。車輪の前に「おにぎり通信」を持った者が待機しますので、声をかけてください。病気やケガの治療を希望される方や体を休めたい方と「福祉事務所」に同行します。福祉行動は原則、毎週月曜日に行います。福祉行動は、参加される方がご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることで成り立ちます。

最寄の福祉事務所

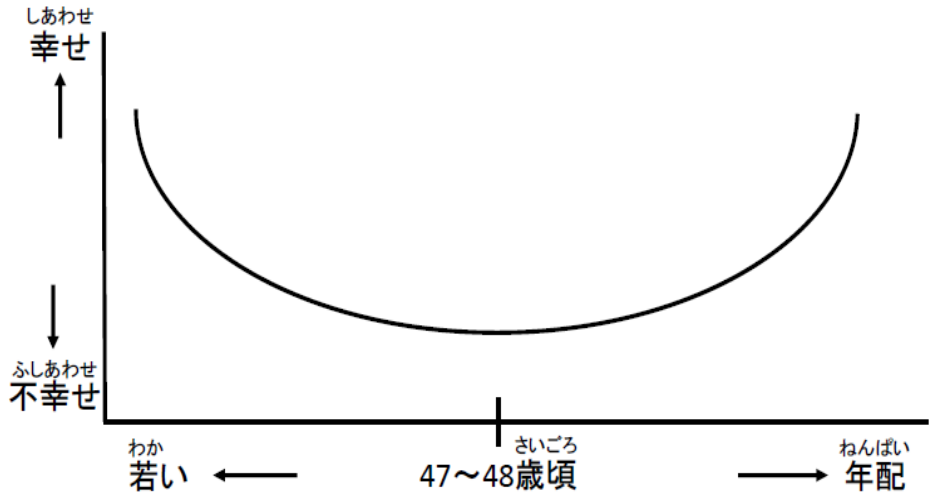
中央区福祉事務所・・・中央区築地 1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所・・・千代田区九段南1-2-1 3階

ねんれい しあわ  
【年齢と幸せ】

ひと わか とし  
人は、若い時から

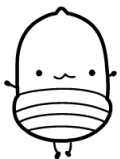
ちゅうねん  
中年にかけては、  
とし  
年をとるとともに、  
しあわ かん ある  
幸せを感じる、或  
いは人生に満足す  
じんせい まんぞく  
る度合が小さくな  
どあい ちい  
って来るのですが、  
47~48歳頃を境



にして、今度は、年をとるごとに幸せを感じる度合が大きくなっていく、という傾向が一般的にあることが、日本を含む世界132ヶ国の人たちを対象に行われた調査で明らかになりました。

年をとるにつれて幸せを感じにくくなって来る理由としては、若い頃は元気があり、うまく行かないことがあってもやり直しがきいていたものが、40代後半になるとそうした元気もなくなり、生活や仕事もうまくいかない、体調が優れない、といったことが重くのしかかってくる、また、この頃には、失業や離婚といった人生の大きな出来事が起こりやすい、といったことが考えられます。

一方、50代に入ると、年を経るごとに幸せを感じる度合が高まってくるのは、いろいろな人生経験を積み重ねていくことで、人生の過ごし方が上手になっていくのかもしれませんが、因みに、こうした傾向は人間に特有のものではなく、チンパンジーやオランウータンなどの類人猿でも見られるとのことで、生物学的な要素もあるようです。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せず、ゴミ箱に入れるなど、片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは必ずその日のうちにお召し上り下さい。また、お1人1個でお願いします。

よつや なかま ちよだくこうじまち せい きょうかい  
四ツ谷おにぎり仲間 千代田区麴町6-5-1 聖イグナチオ教会  
れんらくさき れんらくかのうじかん まいしゅうどうようびごご じ じ  
連絡先 080-7967-8672 (連絡可能時間 毎週土曜日午後3時~6時)